

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【公表番号】特表2009-514925(P2009-514925A)

【公表日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-014

【出願番号】特願2008-539395(P2008-539395)

【国際特許分類】

C 0 7 C 49/825 (2006.01)

C 0 7 C 49/84 (2006.01)

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

C 0 7 D 249/20 (2006.01)

C 0 7 D 209/48 (2006.01)

A 6 1 K 8/02 (2006.01)

A 6 1 K 8/35 (2006.01)

A 6 1 Q 13/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/02 (2006.01)

A 6 1 Q 5/12 (2006.01)

A 6 1 Q 5/06 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

A 6 1 Q 15/00 (2006.01)

C 0 7 C 49/86 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 49/825 C S P

C 0 7 C 49/84 E

C 0 9 K 3/00 U

C 0 7 D 249/20 5 0 3

C 0 7 D 209/48 Z

A 6 1 K 8/02

A 6 1 K 8/35

A 6 1 Q 13/00 1 0 2

A 6 1 Q 5/02

A 6 1 Q 5/12

A 6 1 Q 5/06

A 6 1 Q 19/10

A 6 1 Q 15/00

C 0 7 C 49/86

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/49

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月26日(2009.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

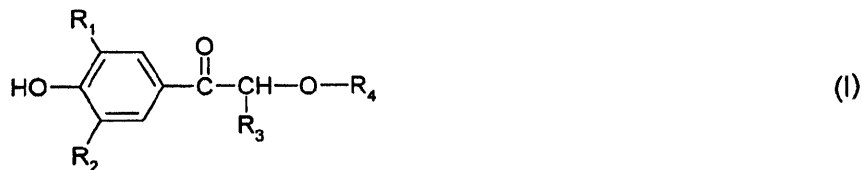
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I)

【化 1】



(式中、

R_1 及び R_2 は、各々、互いに独立して、炭素原子数 1 ないし 10 のアルキル基又は炭素原子数 3 ないし 8 のシクロアルキル基を表わし、

R_3 は、水素原子又は炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル基を表わし、及び、

光化学的に開裂される基 R_4OH は、香料、UV 吸収剤、抗菌剤、防曇剤及び透明剤からなる群から選択されるが、

但し、 R_1 及び R_2 が第三ブチル基を表わし、かつ R_3 が水素原子を表わす場合、 R_4 はメチル基又はフェニル基を表わさない。) で表わされる光潜在性化合物。

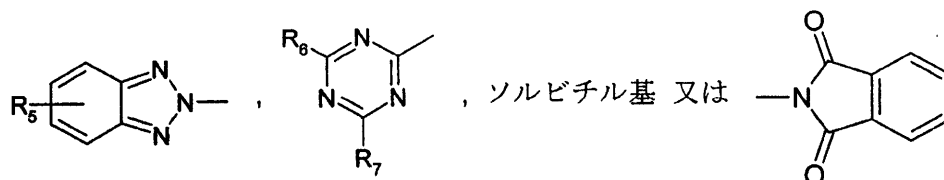
【請求項 2】

R_1 及び R_2 が、各々、互いに独立して、炭素原子数 1 ないし 10 のアルキル基又は炭素原子数 3 ないし 8 のシクロアルキル基を表わし、

R_3 が、水素原子又は炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル基を表わし、

R_4 が、未置換の炭素原子数 1 ないし 25 のアルキル基、炭素原子数 3 ないし 25 のアルケニル基、炭素原子数 3 ないし 25 のアルキニル基、炭素原子数 6 ないし 10 のアリール基、炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルキル基又は炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルケニル基；又は、炭素原子数 1 ないし 18 のアルキル基、炭素原子数 2 ないし 18 のアルケニル基、炭素原子数 3 ないし 18 のアルキニル基、炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルキル基、炭素原子数 1 ないし 18 のアルコキシ基、ヒドロキシル基、炭素原子数 2 ないし 18 のアルコキシカルボニル基、ホルミル基、炭素原子数 1 ないし 18 のアルキルチオ基、炭素原子数 1 ないし 18 のアルキルスルフィニル基、炭素原子数 1 ないし 18 のアルキルスルホニル基、ハロゲン原子、カルボキシ基、炭素原子数 2 ないし 18 のカルボキシアルキル基、炭素原子数 2 ないし 18 のカルボキシアルコキシ基、炭素原子数 3 ないし 18 のアルコキシカルボニルアルキル基、炭素原子数 3 ないし 18 のアルコキシカルボニルアルコキシ基、炭素原子数 7 ないし 9 のフェニルアルキル基、フェノキシ基、ハロゲン原子で置換されたフェノキシ基、

【化 2】



で置換された炭素原子数 1 ないし 25 のアルキル基、炭素原子数 3 ないし 25 のアルケニル基、炭素原子数 3 ないし 25 のアルキニル基、炭素原子数 6 ないし 10 のアリール基、炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルキル基及び炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルケニル基を表わし、

R_5 が、水素原子、炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル基又はハロゲン原子を表わし、及び

R_6 及び R_7 が、各々、互いに独立して、フェニル基又は炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル基で置換されたフェニル基を表わすが、

但し、 R_1 及び R_2 が第三ブチル基を表わし、かつ R_3 が水素原子を表わす場合、 R_4 はメチル基又はフェニル基を表わさないところの、請求項 1 に記載の光潜在性化合物。

【請求項 3】

a) 工業材料、及び

b) 請求項 1 に記載の式 (I) で表わされる光潜在性化合物の少なくとも 1 種を含む組成物。

【請求項 4】

成分 (a) が、溶媒、ワックス、フィルム形成バインダー、塗料、コーティング、天然又は合成ポリマー、繊維、紙、洗浄剤、研磨剤、柔軟剤、シャンプー、ヘアコンディショナー、ヘアスプレー、石鹸、バス又はシャワージェル又はボディデオドラントである請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

成分 (a) 及び (b) に加えて、更に、更なる添加剤を含む請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 6】

更なる添加剤として、フェノール系抗酸化剤、光安定剤及び / 又は加工安定剤を含む請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の式 (I) で表わされる光潜在性化合物を光で照射することを含む、香料、UV 吸収剤、抗菌剤、防曇剤及び透明剤を放出するための方法。

【請求項 8】

式 (I a)

【化 3】



(式中、

R₁ 及び R₂ は、各々、互いに独立して、炭素原子数 1 ないし 10 のアルキル基又は炭素原子数 3 ないし 8 のシクロアルキル基を表わし、R₃ は、水素原子又は炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル基を表わし、及び、

X は、塩素原子、臭素原子又はヨウ素原子を表わすが、

但し、X が塩素原子を表わす場合、R₁ はイソ - プロピル基、第二ブチル基又はシクロヘキシル基を表わし、かつ R₂ はシクロヘキシル基を表わし、また、X が臭素原子を表わす場合、R₁ 及び R₂ はシクロヘキシル基を表わす。) で表わされる化合物。